北千住駅西口美観(振)

ミストで涼空間

全長400mアーケードに

北千住駅西口美観商店街振興組合(足立区)が暑さ対策として始めた微細ミストが今夏も稼働し、来街者に涼空間を提供している(写真)。昨年9月に設置したミスト式冷却機で、商店街への常設としては日本最大という。

ミストが噴霧される場所は、通称「きたろーど1010(せんじゅ)」。JR常磐線・東京メトロ千代田線・日比谷線・東武伊勢崎線・つくばエクスプレスが乗り入れる北千住駅の西口を出てすぐという好立地で、全長400㍍あるアーケード商店街だ。

装置は道路をはさみ両側で計800㍍に及ぶ。近年の「猛暑」と「熱中症予防」対策として念願だったものを取り入れた。

総事業費は約2億2000万円かかったが、東京都の政策課題対応型商店街事業として補助金(対象経費の5分の4)を得られ、地元企業オーナーの寄付もあって実現した。

地上2・8㍍という気化冷却しやすい高さから噴霧されるミストは平均6~10ﾏｲｸﾛ㍍と超微細。すぐに蒸発するため濡れてしまうことはなく、体感温度が4度下がるとのデータもあるという。

実際に通りを歩いてみると、霧状のミストが勢いよく出て、白いベールのよう。視覚的にも涼しさを感じさせ、ミストの下に入ればひんやりする。

ミストは、目安として気温25度以上で晴れまたは曇り、風の強くない日に稼働。操作は商店街事務所から遠隔で行う。今年は6月24日から開始し9月末頃まで、訪れる買い物客に涼を届ける。

葛飾区

コロナ対策に助成

100店未満の商店街へ

葛飾区は7月21日、加盟100店舗未満の商店街を対象に、新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金制度を設けた。

東京都が4月に打ち出した緊急対策型補助金は「加盟店が単体および隣接した二つの商店街で100以上」という条件で、区内88カ所で申請できたのは10カ所。多くが対象外となってしまったため、区独自で救済することにした。

補助対象は、感染拡大防止に使うサーモグラフィーや消毒用品の購入費用、巡回にかかる人件費など。

費用の9割を助成し、上限額は20店舗未満の商店街が30万円、20~49店舗は60万円、50店舗以上だと100万円。

7月1日から12月31日までに支払いが完了したものが対象になる。

商店街大学からジャンプアップ

立川にカルチャーを

あけぼの商店街(振)
第18期生　齊藤　純さん

私の仕事は印章業です。2018年に父から継ぎ4代目社長となりました。03年までJR立川駅北口の曙町に店があったのですが、現在は実店舗を持たずネット通販もしない珍しい業態です。銀行など古くからの得意先があり、㈱宝山堂の看板を守っています。

もとは曽祖父が腕利きの彫り職人で、店にして商売を広げたのは祖父でした。祖父が商店街や地域の祭りでも活躍する姿を子供の頃から見ていて憧れ、私も自然に商店街活動に加わりました。

青年部の集まりに行くと、同世代が皆それぞれ街の中で仕事を持っている。それが心地良くて。

「面白いから他の街も見て来い」。商店街大学を勧めてくれたのも先輩たちです。受講してみて、一つとして同じ街はない、どの街にも悩みはある、と知りました。

立川北口の場合、世代を超え交流がさかんです。若手にまかせてくれる頭の柔らかい人が多いのも特質だと感じます。

というのも立川市は、飛行場があったため「軍都」に発展し、戦後は「基地の街」へ変化。返還後、その跡地が多摩モノレールの開通と相まって、大規模な街の再開発に至った歴史があります。

先代たちは、店の場所を移ったりビル化してテナント業に変えたり、変化を受け入れながら生きてきました。それが特質になったと思うのです。

ただ、立川は何でもあって都会と言われても、褒め言葉だとは思いません。再開発でハード面は恵まれましたが、立川らしさと呼べる何か、カルチャーのようなものは無くなってしまった。今の立川北口の悩みです。

だから商店街や地元の人と付き合い続けたい。交流が何かを生み出す近道だと思っています。

「実はもう一つ職業があって、ZIPSIESとして音楽制作をしています」

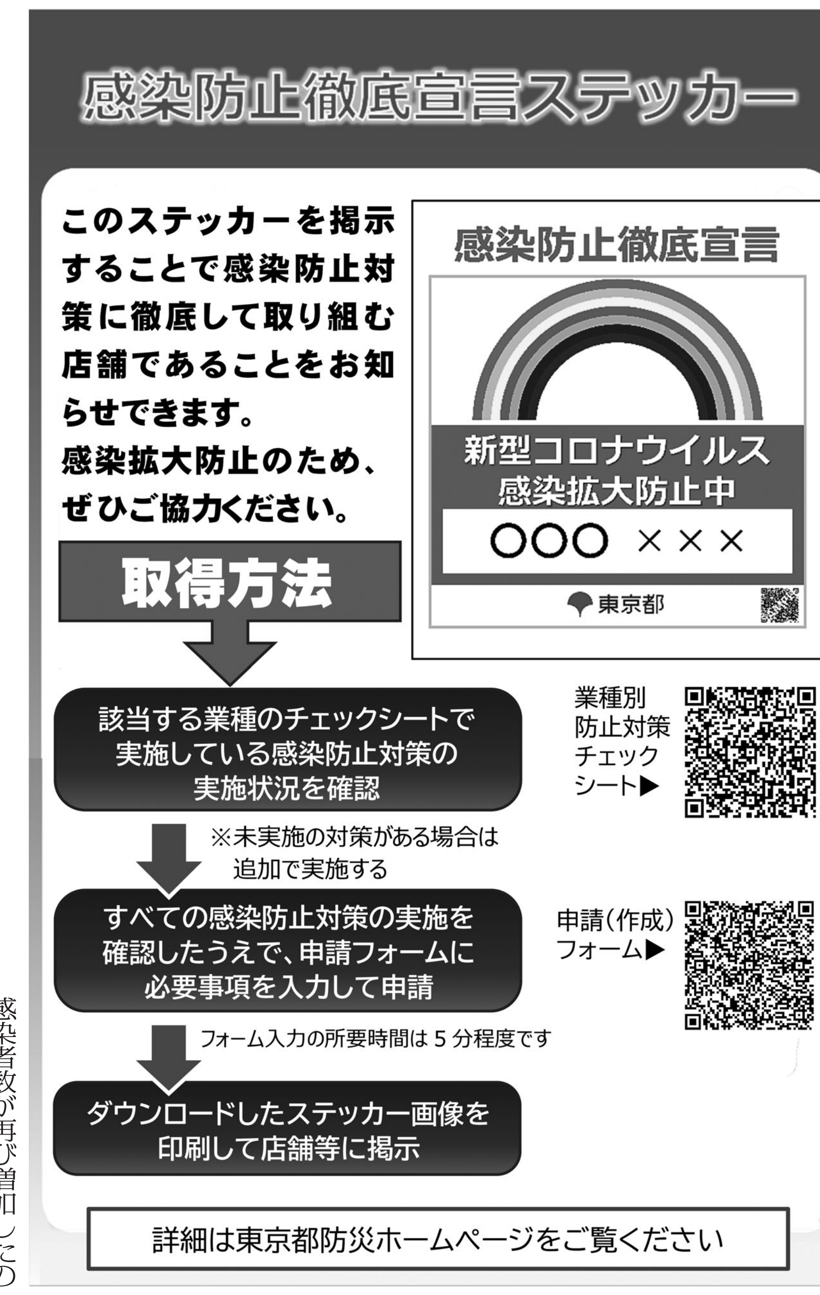
客が店選びの目印に

ステッカーを貼って「当店はしっかり対策しています」と客にアピールしよう──。新型コロナウイルス対策として、東京都が「感染防止徹底宣言ステッカー」の普及を呼び掛けている(表参照)。

ステッカーは、事業者向けガイドラインを守っていることをオンラインでセルフチェックし、店舗名や所在地を登録すると入手できる。画像データを取得後、自分で紙やシールに印刷して使う。

経済活動と感染防止対策の両立が課題となるなか、感染者数が再び増加したのを機に、小池百合子知事が都民へ「対策が講じられていない店の利用は控えて。ステッカーを目印にしてほしい」と求めた。

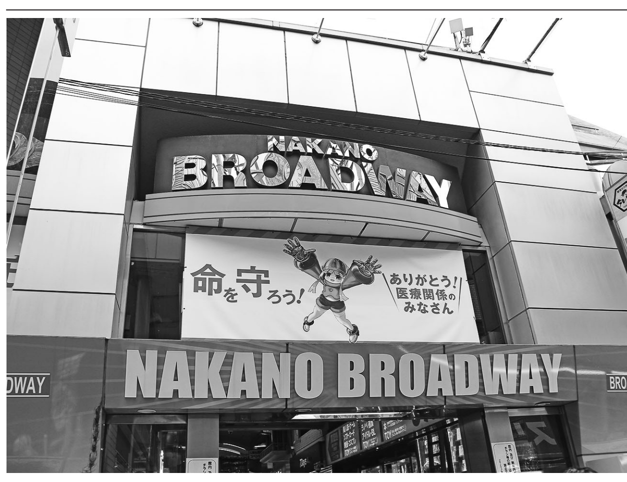
インターネットや印刷ができない環境の場合は都(☎03・5388・0567)へ郵送の申し込みを。



熊本豪雨で募金箱

「地方コラボ、今後も柱」

中野ブロードウェイ(振)



入り口には医療従事者に感謝の横断幕

募金箱を案内する金子義孝さん

中野ブロードウェイ商店街振興組合は、熊本豪雨災害の支援に充てたいと、7月11日から館内に募金箱を設置している。会員からの寄付も含め熊本県へ贈る予定だ。

世界中、日本中からマニアやオタクが集まる中野ブロードウェイは、地下1階から地上4階まで、地域密着型の店やマニアックな店が入る。もともと情報発信が得意でイベント好き、地方との交流もさかんな場所だ。

熊本の「くまモン」は2010年に誕生していらい何度も上京しここでプロモーションしており、縁が深い。16年に熊本地震が発生した際も組合で募金を集めた経緯がある。

ただ、今はコロナ禍で外国人観光客が激減。日本人の来街者もまだ十分に回復はしておらず、募金箱の前を通る人数も少なめだ。

例年は7月に行うサマーセールが今年は8月1~10日に延期されたため、この時期の来街者を待って募金を集計する予定という。

組合の専務理事・事務局長、金子義孝さんは「従来のようなイベント、集客ができないなか、商店街の宣伝の仕方もネット活用など、新しくしていかないといけない。私たちが続けてきた地方とのコラボは今後も柱になる」と話す。

こんな時だからこそとセールのポスターには「みんなで元気に!」とキャッチコピーを添え、群馬や福島など中野区と提携する「里・まち」の特産品などが当たる抽選を行う。

さらには、世界中の人とオンラインで集まれる「eスポーツ」に着目し、中野を拠点にする計画も進行中だ。

各区市振連・区市商連会員様

ネタ探してます!

コロナ禍での取り組み、再開した活動などの情報お寄せください

東京都商店街振興組合連合会　広報課
Fax:03-3542-0236　または
Mail:news@toshinren.or.jp

商店街ステップアップ応援事業

商店街活性化の専門家をあなたの街に派遣します!

活性化を希望する商店街募集!

東京都商店街振興組合連合会では、新たな取組にチャレンジしようとする都内商店街に対し、専門家を派遣する「商店街ステップアップ応援事業」を実施中です。

商店街等が求める分野の専門知識やノウハウを提供し、商店街の魅力向上や更なる発展をサポートします。

専門家によるアドバイスを希望する商店街を募集いたしますので、ぜひご活用ください。

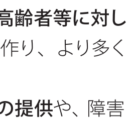
募集要項

■募集期間
随時受付

■料金
無料(専門家派遣に係る費用)

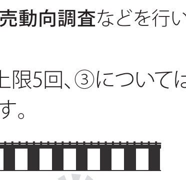
■対象者
都内商店街
※都内商店街とは、以下いずれかの条件を満たしている団体を指します。
なお、個店による申請は不可となっています。
①商店街
②商店街の連合会
③商工会(ただし、商店街を新たに組織化するための取組を行う主体となる場合に限る。)
④東京都による区市町村補助事業である「地域連携型商店街事業」で認める実行委員会及び地域協議会

■支援内容
①都の商店街補助事業に向けたアドバイス
【例】
◎ **街バルや街ゼミ**など、特徴あるイベントを企画することで、集客力向上につなげたい。
◎ **外国人観光客に対応**できるような態勢を整え、新たな顧客獲得につなげたい。
◎ **町会、自治会、NPO 等と連携**し、地域に親しまれる商店街として地域に貢献したい。
○ 現在商店街で実施している**イベントをもっと盛り上げ**て集客につなげたい。
○ 商店街で**新しくイベントを実施**して近隣住民の来街のきっかけにしたいが、何をすればいいかわからないのでノウハウを教えてほしい。
○ 商店街の**マップやホームページなどを作成**することで、商店街の魅力を広くアピールしたい。
○ 近隣にある寺院など、**街の雰囲気に合わせた街路灯、アーケードなどを整備**し、商店街のイメージをより向上させたい。
○ 商店街まで買い物に来ることができない**高齢者等に対して配達サービス**ができるような仕組みを作り、より多くの人に商店街を活用してもらいたい。
○ 子育てママのための**一時預かりサービスの提供**や、障害者の方に対する**バリアフリー対応**を進めることで、商店街に来やすい環境を作りたい。



②一般相談
【例】
○ 後継者不足や空き店舗対策など、**商店街の悩みごとを相談**したい。
○ 商店街活性化のために何ができるか検討を始めたい。

③商店街活性化計画策定等
【例】
○ 商店街として中長期的な活動を行うために、**計画を作りたい**。
○ 来街者のニーズを把握した上で、商店街の方向性を描いた計画を作りたい。
○ **来街者調査**や**購売動向調査**などを行い、商店街の集客につなげたい。
※①②については上限5回、③については上限10回まで派遣を受けられます。



■派遣までの流れ
①「専門家派遣申込書(様式第1)」を都振連まで郵送
②申込書を受領してから1ヵ月程度以内に、当事業のコーディネーターから商店街様へ相談内容のヒアリング
③都振連にて専門家を決定後、コーディネーターと商店街様の間で専門家派遣の日時を決定
④初回の専門家派遣時に、派遣計画を策定
⑤専門家派遣を受けた後、アンケートにご回答をお願いいたします。

■申込方法
下記の東京都商店街振興組合連合会「商店街ステップアップ応援事業　事務局」にお問い合わせいただき、申込書をご郵送ください。

お問い合わせ
お申し込み先

東京都商店街振興組合連合会　「商店街ステップアップ応援事業 事務局」　担当　紅林・関口
〒104-0061　東京都中央区銀座 2-10-18　中小企業会館 5 階

☎ 03-3547-3787(直通)

受付日時:平日(土日祝日を除く)
9:00~17:00